

入 会 案 内

日本の内海は高度経済成長期に大きな変貌を遂げ、様々な環境問題を内包した状態で今日に至っています。堺市の沿岸域を含む大阪湾奥部はその典型とも言えます。干潟や海浜などの浅場が消失した極めて閉鎖性が強い過栄養海域では、貧酸素水塊が発生し、生物多様性や親水性の低下などの問題が依然として生じています。このような状態の一因として、陸から流入する過剰な栄養負荷が上げられます。過剰な栄養物質は我々の生活から排出されるもので、経済社会の影響が“ひずみ”となって沿岸域に滞留・蓄積されていると言えます。「循環型社会形成推進法」に基づき様々な製品や物質の循環利用が進められていますが、こと栄養物質については、河川や湾奥部の閉鎖性海域に集中・蓄積しており、十分に循環利用されているとはいいがたい状況です。一方で、湾口部に近い海域では、湾奥部の潮流が埋立で阻害されることなどにより、淀川や大和川から運ばれる栄養物質が不足し、のりの色落ちが生じるなど新たな問題が発生しています。

魚介類などの食料、安らぎの空間、新たな文化など、『豊かな恵み』を与えてくれる「内海」ですが、高度経済成長期には干潟や浅海域は埋め立てられ、工場等の「土地」としての役割を果たし、また、排水やゴミなど私達の身勝手な「都合」を受け入れ続けてきました。今度は、私たちが、海に恩返しをし、陸と海を一体に捉えた真の循環型社会、持続可能な社会を実現しなければなりません。

大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム（CIFER Osaka Bay）は、以下の事業を推進する産・官・学・民の連携と協働のためのプラットフォームとして、海的环境保全・再生と産業の創出・活性化を目指します。海的环境保全・再生と関連産業の創出・活性化を目指します。

◇沿岸域における食物連鎖と生物多様性の回復、海水の浄化促進に寄与する干潟や浅場などの整備、水環境技術の開発、鉛直混合促進等による大阪湾環境再生事業

◇大量に発生する藻類などのバイオマスを利用し、海洋性バイオ産業等を推進することにより、栄養物質の円滑な循環や海の持つブルーカーボン機能の向上などを目指す環境型事業

◇アジアをはじめとする諸外国の環境問題に携わる実践的・国際的な環境人材育成事業

ご関心のある皆様方のご入会をお願い申し上げます。

■対 象

大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアムの趣旨に賛同する法人、団体、個人

■サポーター

入会申し込みを行い、手続きを完了した法人、団体、個人

■年会費

法人・団体：10,000円

個 人： 3,000円

但し、国、地方公共団体及び大学等教育機関については免除

また、年度途中の10月1日以降に入会の場合は半額

■サポーターの特典

- (1) サポーター限定メールニュースの配信
- (2) CIFER・コアが主催もしくは共催するセミナー、シンポジウム等への無料参加
- (3) CIFER・コアのホームページにおける会員の紹介
- (4) サポーター相互の交流、情報交換、共同研究等への参加

**大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム (CIFER Osaka Bay)
入 会 申 込 書**

年 月 日

大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム (CIFER Osaka Bay) の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

サポーター種別	<input type="checkbox"/> 法人・団体サポーター <input type="checkbox"/> 個人サポーター
---------	--

【法人・団体サポーター】

(フリガナ) 会社・団体名		
(フリガナ) 住 所		
(フリガナ) 代表者職氏名		
事業内容		
URL		
連絡担当者	(フリガナ) 所属 職氏名	
	連絡先住所 電話番号等	〒 Tel : _____ Fax : _____
	メールアドレス	

【個人サポーター】

(フリガナ) 氏 名		
(フリガナ) 住所、電話番号等	〒 Tel : _____ Fax : _____	
メールアドレス		

※CIFER・コアのホームページから事務局にメール、FAXで申し込みをください。

【送付先・問合せ先】
 一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア事務局
 〒591-8025 堺市北区長曾根町130番地42
 さかい新事業創造センター (S-CUBE) 104A
 TEL:072-267-4880 FAX:072-267-4893
 E-mail: cifer-bureau@cifer-core.jp
 URL: http://www.cifer-core.jp